

6 / 5 日、6 日、12 日、13 日、19 日、20 日、26 日、27 日

梅雨のまっただなか (^o^)ノいかがおすごしですか？
今年梅雨入りが早く、九州は5月の中頃には梅雨入りしてしまいましたね。そのぶん、梅雨明けも早いようですので、星空観測の面ではうれしいことかもしれませんね！梅雨は多少窮屈ですが、夏の星空に期待しながらうきうき待ちましょう♪

コンパルホール 星空通信

2021年 6月号



【星空のみどころ】

- 6/1 月と木星と土星が緩やかに並ぶ
- 6/2 月が木星に近づく
- 6/12 **イオがガニメデの影に2度入る**
- 6/12 月と金星が接近
- 6/14 月と火星が近づく
- 6/20 **イオがガニメデの影に入る**
- 6/21 木星が留、逆行へ
- 6/27 月が土星に近づく
- 6/28 月が木星に近づく

【TOPIC】

ガリレオ衛星相互食 とは??

木星には60以上もの衛星があり、そのうちの4つの大きな衛星、イオ・エウロパ・カリスト・ガニメデが「ガリレオ衛星」と呼ばれます。かの有名な天文学者ガリレオ・ガリレイが発見したためにそう名付けられたのですが、その大きさは規格外。たとえば最大の「ガニメデ」は水星よりも大きく、「イオ」や「カリスト」ですら月より大きいのです。

そのため、おそろしく遠くにあるにもかかわらず、地球から小さな望遠鏡でも使えば簡単にその光を観測することができます。この衛星たちの特徴的な点は、公転周期がとても短いため、観察するとどんどん動いていることがわかるのです。一晩でも、かなり動きがあります。

さて、そのガリレオ衛星について、いま、旬の話題、「ガリレオ衛星の相互食」をご存じですか？ガリレオ衛星の軌道面は木星の公転軌道面とほぼ一致しているので、同じ軌道平面を動く衛星の影に別の衛星が入り込んだり、あるいは地球から見て衛星同士が重なって、かくれてみえたりしています。衛星にとっての「日食」「月食」にあたるようなイベント、それが「ガリレオ衛星の相互食」なのです！

ガリレオ衛星相互食がみられるのは6年に1度です。この機会にぜひ望遠鏡で観察してみてください♪



屋上・天体観測ドーム

東経131度36分50秒、北緯33度13分55秒に位置するコンパルホール。屋上(7階)には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約275倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいっちゃいませんか？

今月の惑星情報

水星

見かけの位置が太陽に近く、観察は難しいでしょう。

金星

日の入り後の西の低空に位置しています。徐々に高度が上がり、西の低空で目に付くようになってきます。

火星

宵の西の低空に見え、明るさは1.7等から1.8等。

木星

上旬は真夜中に東の空から昇り、下旬になると真夜中の南東の空に見え、明るさはマイナス2.4等からマイナス2.6等。

土星

やぎ座を西に移動しています(逆行)。真夜中の南東の空に見え、明るさは0.6等から0.4等。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

